

第3期 平成29年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第5回暮らし部会 議事概要

日 時 平成30年3月15日（木）14:30～16:30

場 所 区役所本庁舎3F 302会議室

出席委員 川村委員、郭委員、長谷部委員、小野委員、余委員、鈴木委員、バーバー委員、金（朋）委員、安藤委員、ファトマワティ委員、本多委員、森田委員 12名

欠席委員 丁委員、センブ委員、井上委員、梶村委員 4名

1 開会

2 今後の審議スケジュール

事務局から今後の審議スケジュールについて説明があった。

3 新宿区内日本語学校へのアンケート調査結果について

事務局から新宿区内日本語学校へのアンケート調査結果について報告があった。

4 暮らしに関する課題解決のための具体策の個別検討（最終報告の作成に向けて）

- ・外国人へのアプローチの方法として、大使館が主催するイベント等が有効である。
- ・外国人を日本のことがわからなくて困っている人として扱いたくない。同じ地域に住む仲間として付き合いたい。そのためには、お互いの努力が必要で、わかりあう機会が欲しい。

○公益財団法人日本賃貸住宅管理協会作成のDVD「外国人住まい方ガイド」を視聴し、映像による情報提供について、検討した。

- ・媒体が紙（冊子）から映像に変わったからといって認知度が大きく上がらないかもしれないので、ルールやマナーを周知するための映像を区として作るかは、検討が必要である。
- ・作成にあたって、映像は完成後の修正が難しく、耐用年数が長くないという懸念がある。
- ・日本語学校へのアンケート結果から、区の外国語ホームページやSNSの認知度がまだ低いとわかった。映像を作っても認知度が低いのでは勿体ないため、情報の拡散の仕方を検討したい。
- ・紙より映像の方がわかりやすく、情報提供手段として効果的だが、費用対効果を見極めたい。
- ・「暮らし」という部会名であるものの、議論は実態調査結果で課題としてあげられた「ごみ」「生活音」「自転車」のみを扱った。「暮らし」というテーマで映像を作成するとすると、ルールやマナーだけでなく、福祉制度や子育て支援など伝えたい情報は幅広く、そうした分野については部会で議論していない。
- ・You tube動画を観ることが若者に人気なので、楽しい要素を入れた映像を作成してはどうか。
- ・留学生は来日前に、日本生活について調べているため、facebook等を通じて情報を届けたい。
- ・外国人といっても、留学生、社会人、主婦等、それぞれ必要な情報やニーズは違う。ひとつ

の映像で、全ての層をカバーすることは難しい。

- ・より多くの人に伝えるには、同じ内容の情報を、様々な場所で提供するのが良い。そういう意味では、ごみの分け方出し方は各自治体が違うため、混乱しやすい。
- ・恥ずかしさもあるのか、積極的に話しかけない日本人側も努力が必要だが、外国人にもそうした日本人の気質を理解してもらい、お互いに尊重し合って良い関係を築きたい。
- ・外国人にも、わからないことを聞くときに恥ずかしさがある。前に聞いたことを忘れ、もう一度聞くのが恥ずかしいとき、自分で調べられるようなものが提供されていると便利である。
- ・言葉だけでなく視覚から理解できるので、映像は効果的である。オンラインにし、最後まで観ないといけない形ではなく、チャプターで分けて観たい部分をすぐに観られる形にしたい。
- ・検索すると様々な動画が観られるため、関係機関が作成した映像を探すなどして、既存のものを活用したい。区で映像を作るならどの部分を担うのか、検討が必要である。
- ・守らなければいけないルールについての注意喚起だけでなく、入居差別や虚偽表示による契約トラブルの相談先を案内する等、権利を守る内容も情報提供に加える必要がある。
- ・映像を作成するにあたって、内容を検討できる場があると良い。
- ・外国人コミュニティのホームページやSNSアカウントを区にリンクさせれば、外国人が区の情報に繋がりやすくなるだけでなく、日本人も外国人コミュニティが開催するイベント等の情報を知ることができ、交流の機会が生まれる。
- ・役に立つサイトへのリンク先がたくさん並んでいると、情報を自分で探しやすい。
- ・日本人と結婚している外国人も、女性の場合、日本人配偶者からではなく友人や、子どもがいる場合は保護者のつながりで情報を得ている場合が多い。また、主婦の場合は自分で作るので、母国料理を食べに、レストランには行かない。
- ・情報を得るのに、同国人を頼るかは国籍によって様々である。
- ・日本語を話すか話さないかの他に、本人が社交的な性格か否かによって、地域へ出ていこうとする姿勢は異なる。
- ・日本生活を日本語学校で始める外国人は多いので、部会からあがった留学生への情報の届け方のアイデアが有効かどうか、日本語学校に携わる委員に意見を聞きたい。
- ・来日したばかりの外国人への生活ルールの周知が必要な一方で、日本で長く暮らす外国人にはまた違った情報のニーズがあることを忘れてはならない。むしろ集団に属しておらず、情報が得にくい場合もある。

5 その他

事務局から次回の会議について説明があった。

6 閉会